

神田伊織の会通信 No. 6

編集発行：(広報担当) 高木 登

第6回 阿佐ヶ谷ワークショップ 2023年度第2回「神田伊織の会」公演

開催日：2023年7月16日(日) 14時開演

場 所：阿佐ヶ谷ワークショップ

演 目：第一席 楠木の泣き男

第二席 耳なし芳一

参加者：13名(懇親会参加者：11名)

第一席：楠木の泣き男

マクラに、8月公演予定の「夏の戦争講談新作」について、長崎新聞の一面トップに伊織さんの紹介記事が掲載されたことと合わせ、長崎放送からもインタビューがあったことが披露されました。また、有楽町駅前での辻講釈についても紹介されました。

「楠木の泣き男」は、赤坂千早城に籠るのに際して、楠木正成が家来を増やすために一芸に秀でた者を募集し、神宮寺太郎佐兵衛が選考の面接を担当した。そこへ、何一つ武芸はできないが、必ず人を泣かすことができる杉本佐兵衛なる人物が登場し、神宮寺太郎佐兵衛を早速泣かせる。これを聞いた剛の侍(名前を記録していなかったので失念)が自分は絶対泣かないと自分の名刀をかけ、杉本佐兵衛は自分の命をかける。男は佐兵衛の話に一向に泣くことなく、約束通り佐兵衛の首を切ろうとしたとき、佐兵衛は実は自分は父の仇を打つために名前と身分を偽っていたと言って、その仇討ちにぜひ力を貸してほしいと語ったところ、その話にほだされて男はつい涙を流してしまう。そこで彼が刀を取られようとしたとき、仇討ちだと聞いて気をほだされたのだと言い訳をして刀を渡すまいとするが、佐兵衛は今の話はみな嘘ですと言って見事刀を得ることができた。その後、佐兵衛はこの泣かせる特技で敵を欺き見事手柄を立てる。

杉本佐兵衛の泣かせる話の逸話については、講談師によって内容がいろいろ異なっているので、その違いを聞くのも一興である。

第二席 耳なし芳一

二席目については伊織さんから客席に演目の希望を募られたので、夏場でもあるので「怪談を」という高木の提案で『耳なし芳一』を話された。

『耳なし芳一』については小泉八雲の『怪談』でも有名であり、内容については人口に膾炙されているのでここでは省略する。

● 懇親会

今回より、ワークショップ理事長のご厚意により懇親会費はなしとなりました。

いつものように佐竹理事長が準備された料理や、お酒、ワインの差し入れもあり、伊織さんを囲んで11名参加され、和やかに懇談がなされました。

高野士郎さんが、阿佐ヶ谷ワークショップでの伊織さん公演の「ネタ帳」を作成され、早速当

日の演目書き入れられました。

● 副会長で会計担当の藤丸健一さんからの報告事項

(1) 会計報告

木戸銭：13名×1500円＝19,500円

本日の講演料として神田伊織さんに高木よりお渡ししました。

(2) 昇降台

これまで椅子で代用していたのを藤丸さんが自費で購入（6,380円）されましたが、佐竹理事長よりワークショップで負担されるということで、前回の懇親会費5,500円を充当し、残額の880円は藤丸さんが個人負担されました。

(3) このワークショップに伊織さんを紹介された北谷隆泰さんを「名誉会長」という推薦については、残念ですが、北谷さんからご鄭重に御辞退の申し出がありました。

● 伊織さんの今後の予定と次回ワークショップでの公演について

伊織さんはほとんど休む間もなくいろいろな場での活躍をなさっていますが、その詳細については伊織さんのホームページやツイッター等 SNS でご確認ください。

(1) 8月13日（日）14時30分開演、なかの芸能小劇場にて

神田香織・伊織親子会 ～夏の戦争講談新作お披露目～

神田香織：西村滋作・ニシモトマキ脚色『お菓子放浪記』

神田伊織：大作を準備中（長崎新聞での記事、長崎放送のインタビューで注目）

木戸銭：3000円（予約は、伊織さん、もしくはオフィス10 (office10.jyu@gmail.com)

(2) 次回の阿佐ヶ谷伊織会の公演

11月19日（日）14時開演

参加費：1500円（懇親会費込み）

予約・問い合わせ：高木登（Mail: n.takaki@jcom.home.ne.jp, TEL: 009-5318-5174z）

以上